

令和6年度 心の健康・文化フォーラム  
子どもに安全と安心を届ける文化力を考える  
－人と人の心と命をつなぐ臨床心理士への期待－

日時 2024年12月8日(日) 10:15～17:00(受付開始9:45)

場所 国立京都国際会館メインホール(京都市左京区岩倉大鷲町422)

午前の部 10:15～12:15

開会挨拶 藤原 勝紀 (公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会専務理事)

来賓挨拶 文部科学省 様  
松井 孝治 様 (京都市長)

特別報告 「臨床心理士による復興支援心理臨床の現場から」  
石川県臨床心理士会

基調講演 「古典に学ぶ文化力」  
畑 正高 氏 (株式会社松栄堂代表取締役社長・  
元京都市社会教育委員・元京都府教育庁職務代理)

午後の部 13:30～17:00 パネルディスカッション

いま、児童生徒の心の健康と自然で自由な育ちを考える  
－臨床心理士が眼差す心と文化と営みの原風景について－

基調提案

「木に学ぶ －樹木医として植物と向き合う中で感じること－」  
中井 貞 氏 (京都府立植物園 技術課長補佐兼樹木係長)

パネラー

★パーソンセンタード・アプローチの観点から  
「主体の自然な心の働きを活かす  
～カウンセリング、日常的なかかわりを通して～」  
園田 雅代 氏 (創価大学教授)

★投影法・バウムテストの観点から  
「心としてのバウムイメージが育つ環境を考える  
－二つの“地”という視点から」  
鶴田 英也 氏 (神戸女学院大学教授)

★小児心身医学の観点から  
「子どもたちの身心の育ちを支える臨床  
～からだところの不調や痛みに触れながら」  
塚野 喜恵 氏 (新潟県立新発田病院小児心身症科部長)

★森里海連環学の観点から  
「自然の豊かな“総合力”を子どもたちとともに学ぶ」  
田中 克 氏 (京都大学名誉教授)

コーディネーター

横山 恭子 氏 (上智大学教授) / 石原 宏 氏 (島根大学准教授)

主催 : 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会

後援 : 文部科学省 / 京都府 / 京都府教育委員会 /  
京都市 / 京都市教育委員会 / 一般社団法人京都府臨床心理士会

# 令和6年度 心の健康・文化フォーラム

## 子どもに安全と安心を届ける文化力を考える

### —人と人の心と命をつなぐ臨床心理士への期待—

#### 開催趣旨

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会は、心の専門家を資格認定するわが国初めての団体として1988年に河合隼雄設立準備委員長を中心に創設されました。1990年には文部省（現文部科学省）認可財団法人に、2013年には内閣府より公益財団法人として認定され、現在に至っています。臨床心理士（心の専門家）の養成（指定大学院制）・試験（資格審査制）・研修（資格更新制）をメイン事業に、現在4万人を越える臨床心理士を輩出するとともに、1995年以來の学校臨床心理士（スクールカウンセラー）事業の推進をはじめ、1991年から「心の健康会議」（第1回は沖縄県）を毎年度開催するなど、国民とくに子ども一人ひとりの安全・安心な心の健康生活に寄与するため、犯罪や自然災害被災者支援など幅広い社会的な諸事業・現地現場での相談実践活動を精力的に実施しています。

「心の健康・文化フォーラム」は、2016年に新たに企画され、コロナ禍から立ち上がる中で、昨年は文化庁京都移転が実現した記念開催年として、「子どもとともに心を耕し文化を造る場を考える」をメインに、文化を担う子どもと大人の原点に立ち返りつつ、文化庁が京都に移転した年に相応しいテーマで開催しました。今年は、さらに心の文化力を推す、人間力の在処を眼差しつつ、広く地域と関係各位のご協力を得ながら、希望と幸せが自然に息づく心の文化創造に向けて、子どもの心と命に響き届く取り組みを願って企画しました。

#### 基調講演

はた まさたか  
畑 正高 氏

### 「古典に学ぶ文化力」



昭和29年 京都生まれ。大学卒業後、香老舗松栄堂に入社。平成10年、同社代表取締役社長に就任。

香文化普及発展のため国内外での講演・文化活動に意欲的に取り組む。アメリカにおいては、長年にわたる文化交流活動に対し、平成16年ボストン日本協会よりセーヤー賞を受賞。令和3年大阪国税局長表彰受彰。令和4年文化庁長官表彰受彰。令和6年旭日双光章受章。

著書に『香千秋』（香老舗 松栄堂）、『香清話』（淡交社）、『香三才』（東京書籍）などがある。

## パネルディスカッション

# いま、児童生徒の心の健康と自然で自由な育ちを考える －臨床心理士が眼差す心と文化と営みの原風景について－

なかい ただし 基調提案  
中井 貞氏 「木に学ぶ －樹木医として植物と向き合う中で感じること－」

1970年滋賀県生まれ。ランドスケープアーキテクトとして、全国で庭園、公園などの設計に携わる。中でも文化財庭園の復元、調査、設計に多く関わり、桂離宮、修学院離宮、京都御所等の整備設計に従事しつつ、樹木医として各所で古木、名木の診断治療に携わった。2010年（平成22年）から京都府に任用、京都府立植物園において樹木医として園内樹林地の維持管理に就いている。

そのだ まさよ  
園田 雅代氏 「主体の自然な心の働きを活かす  
～カウンセリング、日常的なかかわりを通して～」

東京大学にて学部から修士課程まで学ぶ。玉川大学勤務を経て、現在、創価大学教育学部ならびに大学院臨床心理専修課程教授。心理臨床は総合病院小児科、精神科クリニック、公立中学校、複数の学生相談室などで実践。パーソンセンタード・アプローチをベースにしたカウンセリングのほか、子ども・青年・対人援助職者向けのアサーション・トレーニングにも力を入れてきている。

つるた ひでなり  
鶴田 英也氏 「心としてのバウムイメージが育つ環境を考える  
－二つの“地”という視点から」

京都大学大学院助手、梅花女子大学講師、准教授を経て、現在神戸女学院大学心理学部教授。専門分野はバウムテストを中心とするイメージに関わる心理臨床。

つかの よしえ  
塚野 喜恵氏 「子どもたちの身心の育ちを支える臨床  
～からだところの不調や痛みに触れながら」

新潟県立新発田病院・小児心身症科部長。小児科医として働いたわら、兵庫県川西市子どもの人権オンブズパーソン・調査相談専門員（1999年4月～2001年3月）なども経験し、2007年、臨床心理士資格取得。専門分野は小児心身医学、医療における子育て支援、小児漢方診療、臨床心理学、子どもをめぐるソーシャルワーク。

たなか まさる  
田中 克氏 「自然の豊かな“総合力”を子どもたちとともに学ぶ」

滋賀県大津市生まれ、琵琶湖で育つ。京都大学農学部などで稚魚の生態研究を進め、森と海がつなぐいのちの循環を再生に向かわせる統合学「森里海連環学」を提唱。震災の海三陸沿岸域や“宝の海”から瀕死の海に至った有明海の水際の復活を、水辺で元気に楽しく遊び・賢く学ぶ子供たちの“絶滅危惧状態”からの復活に重ねる。『ニホンウナギの“想い”を探る』（編集、花乱社、2024）

コーディネーター 横山 恭子氏(上智大学教授)／石原 宏氏(島根大学准教授)

# 令和6年度 心の健康・文化フォーラム

## 子どもに安全と安心を届ける文化力を考える

### —人と人の心と命をつなぐ臨床心理士への期待—

◆どなたでも無料でご参加いただけます(要申込)◆

**参加資格** 特に問いません。心の健康問題や様々な分野での臨床心理士の活動に関心をお持ちの一般の方々のご参加を歓迎します。

**参加料** 無料(ただし事前申し込みが必要です)

**申込方法** 【臨床心理士有資格者の方】  
参加を希望する臨床心理士有資格者は、以下のURLまたは右のQRコードの申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/DEt6FfXbfRZbLrZv8>



※申込フォームの利用が困難な方は、  
ハガキに「臨床心理士登録番号」「氏名」を記入し郵送してください。

#### 【一般の方】

ハガキに氏名、住所、電話番号を記入し、ご応募ください。

#### 【申込期限】

令和6年11月1日(金)まで(ハガキは当日消印有効)

参加定員は1,400名程度です。定員を超える場合は抽選とさせていただきますのでご注意ください。

#### 【参加可否連絡】

令和6年11月8日(金)を目途に、参加可否をメールにてお知らせします。  
ハガキでお申込された方には、ハガキで通知します。

#### 【研修ポイント】

臨床心理士有資格者は、臨床心理士教育・研修委員会規程別項第2条(1)に基づき2ポイントが取得できます。

**申込・問合せ先** (公財)日本臨床心理士資格認定協会 心の健康・文化フォーラム係  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-5 湯島D&Aビル3階  
TEL: 03-3817-0020/FAX: 03-3817-5858/http://fjcbcp.or.jp/

**会場へのアクセス** JR京都駅から地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車(所要約20分)  
駅から徒歩約10分程度

## お申込みに当たっての留意事項

国や自治体の方針、あるいは自然災害等により中止、変更が生じる場合は、本協会ホームページ(<http://fjcbcp.or.jp/>)でご案内いたします。

参加者の皆様の安全安心を第一に、手洗い・手指消毒等の基本的な感染防止についてご協力ください。多くの方が参集されますので、マスクの着用を推奨します。

なお、ご参加の皆様には、円滑な当日運営にご協力をお願い申し上げます。